

イタリアンライグラスの雑草防除について

那須農業振興事務所

ナズナ、ホトケノザ等により、牧草の減収が生じています。適切な対策で雑草の防除を行いましょう!!

1 ナズナ

茎が硬いため、牧草の収穫がしづらくなり、サイレージの品質が悪化する。【春の七草】のひとつであり、アブラナ科の越年草。秋に発生し、越冬した後、春に**白い花**を咲かせ、種子繁殖する。発生深度は浅く、埋土種子の寿命は長い。一度種子が落ちると長期間被害が継続するため、適切な防除が必要。



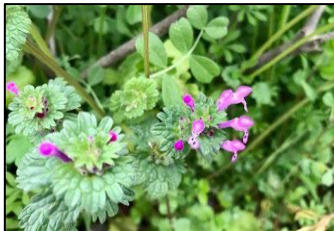
ナズナ



侵入圃場近景

2 ホトケノザ

シソ科オドリコソウ属。水平に広がるため、牧草の生育が阻害される。世界各国に広く分布。種にはアリの好む糖等が含まれそれにより拡散する。**紅紫色の花**が特徴で、近縁種のヒメオドリコソウも牧草地では目立つ。なお、春の七草のホトケノザとは、別種である。



ホトケノザ



侵入圃場（轍沿いに発生）

防除方法

ナズナ等の雑草は秋に発芽後、越冬し、春に開花する特徴を持つ。播種から収穫までのタイミングでの防除方法は以下のとおり。

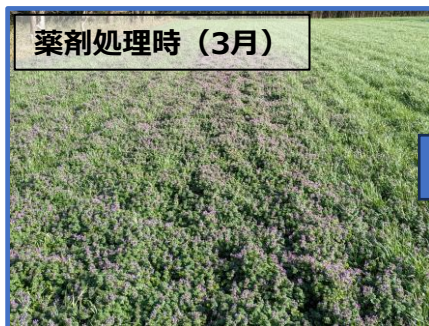
- 1) 播種作業を精密に行い、牧草の生えない裸地を無くす。
- 2) 牧草の密度をあげ、牧草による日陰で雑草の生育を阻害する。

3) 晩秋（12月初旬頃）に除草剤（ハーモニー75DF※）を散布する。（農薬の登録情報を確認し、適切に使用すること） ※一年生牧草に使用する場合は、薬害の恐れがあるため、5葉期以降に使用

【要注意】

春の除草剤処理では、雑草の成長により、効果が十分に発揮されません。雑草の生育初期の晩秋までに防除しましょう!!

薬剤処理時（3月）



1ヶ月後（4月）

